

そ

お

曾於 議会だより

2010.8

No.21



子育て支援対策事業見舞金可決 2

市政を問う 一般質問 6

委員会報告 15

柳迫小学校プール開き(末吉町)

6月定例会

対策の強化を

口蹄疫侵入を防止する為
24時間体制で消毒作業



橋野ポイント

第2回臨時会

☆平成22年度曾於市一般
会計補正予算(第2号)

(全会一致 可決)

今回の補正予算は、宮崎県の口蹄疫感染拡大に対する侵入防止対策と農家支援対策を図るもので、歳入の主なもの、緊急雇用創出事業臨時特例基金事業費補助金3211万1千円一般寄附金100万円、及び財源調整のための財政調整基金繰入

第2回臨時会を5月28日開会、報告1件、承認案5件、口蹄疫に対する総合的な支援対策の強化と充実を求める意見書など審議・議決しました。

6月定例会は、6月14日に開会し、6月29日に閉会しました。定例会では、曾於市国民健康保険税条例の一部改正、平成22年度予算の補正に関するもの他、報告3件、諮問3件、議案20件、請願1件、陳情6件、国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書など発議6件を審議・議決しました。

金6785万8千円です。

歳出については、消毒ポイントの各リース料、物品購入等に係る畜産振興協議会補助金925万7千円、市内の牛・豚飼養農家に消毒剤を配布するための消耗品費860万円、消毒ポイントにおける作業を継続するための委託料3211万2千円、及び7月までの子牛せり市延期を想定した子牛育成支援対策事業見舞金5100万円です。

ストップ! ザ 口蹄疫

口蹄疫に対する総合的な支援



母智丘ポイント



高見堂ポイント



意見書

☆口蹄疫に対する総合的な支援対策の強化と充実に求める意見書

(全会一致 採択)

国内では10年ぶりとなる口蹄疫が宮崎県内で発生して以来、毎日のように疑似患者が発生し、終わりの見えない自主防疫対策の中で、畜産農家は心身ともに極限状態にあり、今後の畜産経営の先行きに不安を募らせるばかりです。また、地域経済、市民生活にも多大な影響が出ております。畜産農家がこれからも安心して生産・肥育を続けられ、経営安定が図られるとともに、日本の畜産が健全な発展を続けられるよう、防疫対策の強化、畜産経営安定対策の強化等を求めて衆参議院議長並びに関係大臣に提出しました。

6月定例会

予算

平成22年度曾於市一般会計補正予算(第3号)

(賛成多数 可決)

今回の補正は3億9412万6千円を追加し、歳入歳出212億7959万5千円となりました。

歳入は、地上デジタルテレビ難視聴地域解消のための辺地共聴施設整備事業補助金5250万3千円の国庫補助金、小規模特別養護老人ホーム建設に伴う介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金1億150万円の県補助金、財政調整基金繰入金578万7千円、地域振興住宅建設に伴う土木債1億2760万円です。

歳出は、辺地共聴施設整備事業補助金6434万5千円、申請件数増に伴う危険廃屋解体撤去補助金1000万円、小規模特別養護老人ホーム建設の地域

密着型サービス施設整備補助金1億150万円、畜産農家に対する無利子貸付金制度の畜産振興基金事業繰

平成22年度曾於市介護保険特別会計補正予算

(全会一致 可決)

出金2000万円、地域振興住宅を新たに10戸建設する地域振興住宅建設事業1億9285万2千円が主なものです。

今回の補正(第1号)は8282万8千円追加し、総額を44億6227万8千円とする。

平成22年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算

(賛成多数 可決)

平成22年度曾於市公共下水道事業特別会計補正予算

(全会一致 可決)

今回の補正(第1号)は6802万9千円減額し、総額を60億3001万4千円とする。

今回の補正(第1号)は776万2千円追加し、総額を3億9292万円とする。

平成22年度曾於市老人保健特別会計補正予算

(全会一致 可決)

平成22年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算

(全会一致 可決)

今回の補正(第1号)は61万3千円追加し、総額を223万9千円とする。

今回の補正(第1号)は2万2千円追加し、総額を1億1828万5千円とする。

平成22年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算

(全会一致 可決)

平成22年度曾於市水道事業会計補正予算

(全会一致 可決)

今回の補正(第1号)は771万1千円減額し、総額を4億8399万1千円とする。

今回の補正(第1号)は277万2千円減額し、収益的支出の総額を5億2327万5千円とする。

6月定例会追加議案

**☆平成22年度曾於市一般会
計補正予算(第4号)**

(全会一致 可決)

今回の補正予算は、都市における口蹄疫感染牛確認に対する侵入防止対策と農家支援対策、及び今回の梅雨前線による豪雨災害の復旧を図るものであり、歳入として一般寄附金488万7千円及び財源調整のための財政調整基金繰入金1億6418万4千円です。

歳出については、道路通行規制に伴う監視員賃金及び商店・事業所等へ貸し出しをするための消毒マツト購入費、車両消毒のための自動消毒機設置費等に係る畜産振興協議会補助金4535万5千円、8月から子牛せり市再開を想定した子牛育成支援対策事業見舞金5950万円、農地・農業用施設災害に対する測量設計委託料等1768万円、公共土木施設災害に対する災害応急作業委託料675万6千

円、及び緊急時に備えるための予備費3000万円が主なものです。

曾於市国民健康保険税率の一部改正条例制定について

(賛成多数 可決)

曾於市内の国保に加入されている被保険者の保険税を改正するものです。

今回は医療費の増加、税収入の減少で国保会計に歳入不足が生じるため国保税率の引上げをするものです。今年是一般会計から約8800万円の法定外繰入れを行っても、平成24年度には財源不足が予想されます。反対意見のなかでは、市民のくらしや農家の収入が落ち込んでいく時に国保税引き上げをするべきではないとの強い意見がありました。また、国保会計が厳しくなっているのは国からの補助金が大幅に削減されてきたためであり、国に対して補助率を元に戻すべきであるとの意見書を提出しました。

平成22年度の国保税の税率

区分		H22年度	H21年度まで	増減
医療給付費分 (0歳～74歳まで)	所得割額	7.30%	6.40%	0.90%
	資産割額	32.00%	44.80%	△12.80%
	均等割額	23,000円	20,000円	3,000円
	平等割額	22,000円	20,000円	2,000円
後期高齢者支援分 (0歳～74歳まで)	所得割額	1.70%	2.00%	△0.30%
	資産割額	7.20%	5.00%	2.20%
	均等割額	5,000円	3,000円	2,000円
	平等割額	4,000円	2,000円	2,000円
介護納付金分 (40歳～64歳まで)	所得割額	1.30%	0.90%	0.40%
	資産割額	5.80%	8.10%	△2.30%
	均等割額	7,000円	6,000円	1,000円
	平等割額	4,000円	3,000円	1,000円

**土地の取得について(財
部地区宅地分譲整備事業
用地)**

(賛成多数 可決)

この事業は財部町の坂元地区の水田13筆1万3039㎡、2607万8千円で取得し、市外からの若者定住促進を指す宅地分譲事業です。この計画は平成21年度も予算提案されましたが、地区住民から反対陳情が出され、今回再度面積変更を含め提案されました。人口増加と地域活性化の目的については、地区住民も理解できる場所ですが、申請地の境界線には牛の畜産農家があり、臭いやハエ、そして牛の鳴き声などで住宅建設に苦情が出ることが予想され、事業の場所変更を求める陳情書が出されていきました。

当局は、今後地元住民の声には検討を進めていくということで賛成多数で可決されました。

請願

**☆自主共済制度の保険業
法適用除外を求める意
見書採択の請願書**

(全会一致 採択)

提出者 曾於市末吉町諏訪方6233番地1
久保田厚雄氏

紹介議員 五位塚 剛氏

陳情

**☆永住外国人への地方参
政権付与の法制化に反
対する陳情書**

(賛成多数 採択)

提出者 曾於市大隅町恒吉655番地
後藤大志郎氏

**☆選択的夫婦別姓制度の法
制化に反対する陳情書**

(賛成多数 採択)

提出者 曾於市大隅町恒吉655番地
後藤大志郎氏

**☆改正国籍法に関する陳
情書**

(全会一致 採択)

提出者 曾於市大隅町岩

川4856番地

谷川 正文氏

☆30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請

(賛成多数 採択)

提出者 曾於市末吉町新町2-16-18

団塚 栄喜氏

☆国民健康保険税8%も
の値上げ中止を求める
陳情書

(賛成少数 不採択)

提出者 曾於市財部町下財部1364番地2

長野 修治氏 外8名

☆曾於市国民健康保険税
の引き上げに関する陳
情書

(賛成少数 不採択)

提出者 曾於市大隅町中
之内8422番地12

豊饒 孝氏 外12名

なお、採択された請願・
陳情は、それぞれ関係機
関に意見書を提出しまし
た。

意見書

☆国民健康保険に対する
国庫負担の増額を求め
る意見書

(全会一致 可決)

政府に対し国庫負担割
合を少なくとも従前の負
担割合に回復すると共に
加入者負担の健保間格差
の是正を含む、制度の抜
本改正を早急に取り組む
ことを求めるものです。
内閣総理大臣、厚生労
働大臣、財務大臣に提出
しました。

人権擁護委員の承認

人権擁護委員候補者を
推薦するため、議会に意
見が求められ適任とされ
ました。

大窪 義孝氏 70歳

(末吉町深川)

中山 壽子氏 62歳

(末吉町諏訪方)

幸田 貞文氏 62歳

(大隅町中之内)

辺地に係る公共的施設の 総合整備計画

(全会一致 可決)

●財部町大峯辺地

大峯・永里線は、永里
集落と大峯集落を結ぶ主
要な幹線道路であり、幅
員が狭くカーブ区間の未
改良部分を整備すること
により自動車交通の円滑
化等を図るために5カ年
の総合整備を計画し、現
在市道の整備を実施中
です。

今回、当該辺地区域内
に同様の上大峯線があり、
大峯集落内を通過し、財
部北小学校や北中学校及
び主要地方道都城隼人線
に通ずる主要な幹線道
路であるが、幅員が狭く
カーブ区間も多く、通行
の安全性確保のため車道
整備を行い、自動車交通
の円滑化と自転車通学に
よる児童・生徒・歩行者
等の安全確保を図るため
計画変更を行います。

概況	人口	面積	整備計画期間	施設名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策債の予 定額
						特定 財源	一般財源	
財部町 大峯地区	131人	1.6km ²	平成19年～ 平成23年度	道路	1億1910万1千円		1億1910万1千円	1億1880万円



大峯辺地 上大峯線



大峯辺地 上大峯線 起点

政を問う



原田 賢一郎 議員

口蹄疫発生への対応策を

市長／消毒強化に努めたい

原田議員 4月20日宮崎県都農町に発生した口蹄疫の対策は。

池田市長 本市は4月21日牛豚農家へ消毒薬の配布を決定し27日に納入、28日に配布を行なった。

4月23日に曾於市家畜防疫対策連絡協議会を開催し、口蹄疫侵入防止対



マット消毒を行う一般車両

策委員会を設立して、4月30日から県道109号線・国道269号線・県道2号線の3ヶ所。5月7日から国道10号線でも消毒を開始し、5月14日からは24時間体制で、現在は一般車両も消毒している。

問 口蹄疫発生に対する初動体制のマニュアルは。
市長 市職員、農協職員、共済職員約130名を振り付けた初動体制を構築している。

問 県有牛、民有牛の種雄牛を離島へ一時避難させている実態の把握は。
市長 離島へ分散して避難させることは賢明な措置だと思う。民有牛は把握していないが県有牛は6頭を喜界島に、他の6頭を屋久島へ避難させているが避難先での精液採種は行っていない。

問 県有牛、民有牛の種雄牛の精液備蓄の状況は。
市長 民有牛については情報が無い。県有牛については、約半年分2万4千本を確保している。

問 宮崎の終息宣言が長びくと精液の確保が難しくなるおそれはないか。
市長 当分の間は支障はないものと考えている。

問 現在の対策は不十分だ。妊娠牛への助成対策、酪農へのヌレ子対策、人工授精師への支援対策をとるべきではないか。
市長 子牛セリ市が延期になった分、ひと月1頭



消石灰による防疫対策

あたり1万円を交付することとした。育成牛（妊娠牛）と酪農家のヌレ子については対応を検討し、授精師の支援については、セリ市が再開されると3%の授精料は現行通り受け取ることになる。

問 素牛（子牛、妊娠牛）導入に1頭10万円の助成策はとれないか。
市長 平成21年度から実施している1頭3万円を一農家7頭まで交付することと畜産振興基金貸付事業で対応する。

問 アンケート調査を実施し実態に即した対策を

とるべきではないか。
市長 調査を実施して検討する。

問 南九州地域に日本動物衛生研究所に類する機関を設置すべきと考えるが。
市長 今回成立した口蹄疫対策特別措置法により感染家畜の判定を迅速化するため感染家畜の判定を当該地域内で行えるよう規定が定められた。

問 今後のせり市再開の見通しは。
市長 都城の発生を受けて非常に厳しい状況で再開の目途は示されていない。

道の駅財部きらら館の再開は

市長／慎重に進める



久長 登良男 議員

久長議員 再開の用途はどうなっているのか。
池田市長 きらら館の物産館は前施設使用者が3月31日をもって撤退された。2月22日に道の駅財部きらら館管理運営検討委員会を設置し、今後の管理及び運営のあり方について協議する。

その後、株式会社総合人材センター代表東祐一氏から、3月15日にきらら館の使用許可申請書が提出された。



再開が待たれるきらら館

3月23日にきらら館使用審査会を開き、プレゼンテーションを行い、25日に再度審査会を開き慎重に審査した結果、経験も少なく、依存型の経営が予想され、経営面においても不安要素が多いなど使用の許可は、不適当との結論が出た。
早い時期に再開が出来るよう努力していく。

問 委託先の選定はどうなっているのか。

市長 委託先の選定については、現在も管理運営検討委員会を中心に、施設の使用者を模索中である。開館してから、22年度に継続できなかったことを洗い出し、これを教訓として、財部の地域性も考慮しながらしっかりとした経営のできる施設使用者を、慎重に検討していきたい。

問 運営に対する考え方は。
市長 しっかりとした経営理念を持ち、豊富な実績があること、そして、新鮮な農産物や加工品等の品揃えができ、消費者に安心・安全な商品の提供ができることである。

その為には、しっかりとした出荷者協議会等が確立されることである。

農産物や加工品など、出荷される方々が、作る喜び・買って頂く喜びを共有しながら、消費者に親しまれる「個性あふれる道の駅財部きらら館」

を目指し、粘り強く慎重に選定していく。

中学校の統合について

問 平成24年度から財部町及び末吉町の各中学校をそれぞれ一校に統合する予定だが、閉校した跡地の活用についての考えは。

市長 今年3月に曾於市学校規模適正化計画を作

成した。主な内容は、末吉・財部地区の中学校の統合であり、今その計画を進めている。

統合後の跡地活用は、先に統合した大隅地域の跡地もどのように活用するか課題として一緒に検討している。

地域住民や社会福祉法人、民間事業者等から有効活用の希望がある場合は柔軟に検討したい。



財部北中学校



財部南中学校

保健福祉センター（仮称） 健康ランドの建設について

市長／健康ランド整備検討委員会を
発足し準備を進めている



海野 隆平 議員

海野議員

保健福祉セン

ター（仮称）健康ランド
の建設に向け担当課を中
心にどのような話し合い
がされたか。

池田市長 健康ランド整
備については、昨年の10
月以降、保健福祉課を中
心に建設課、企画課を交
えて場所等の検討を進め
てきた。企画課を主管課
とする副市長及び関係課
長の12名の委員で構成す
るパークゴルフ場、フラ
ワー公園、健康ランド整
備検討委員会を発足させ、
今まで2回開催し、基本
構想等について協議して

いる。場所については既
存の施設とも連携して健
康福祉等を一体的に進め
られる市民プール及びメ
セナ会館に隣接して整備
する方向で検討している。

問 曾於市総合振興計画
についてはいつのせるのか。
市長 12月にはのせられ
るよう準備する。

問 健康ランドの施設の
概要、予算規模等、具体
的に示せ。

市長 施設の概要につい
ては、乳幼児から高齢者
まで、だれもが気軽に利
用できる、健康増進、福
祉向上、生涯学習推進、
地域交流促進としての多
目的施設であるとともに、

市民プール及びメセナ会
館の機能を活用した一体
的な複合施設を整備でき
ないかと、検討中である。
施設の主な事業として

は各種の健康診断や保健
指導、予防接種、健康相
談、健康教室などの保健
事業や、各障害者、母子・
高齢者等の相談や支援及
び子育て支援などの福祉
関係事業、生涯学習事業
などを考えている。予算
規模等については、今後
整備検討委員会で協議し
ていく。

問 事業年度については。
市長 今年度中に基本構
想策定及びプロポーザル
による設計を実施し、23
年度中に基本設計、実施
設計及び工事着工をし、
24年度完成したいと考
えている。

※プロポーザルとは

建築物の設計者を選定
する際に、複数の者に企
画提案してもらい、その
中から優れた提案を行っ
た者を選定すること。

空き家、廃屋の 活用と対策は



解体予定の空き家

問 市内の空き家、廃屋
の実態について旧町ごと
に示し、面積はいくらで
利用可能か。

市長 平成21年度自治会
長を通じて空き家の調
査を実施した。空き家の
件数は財部地区328棟、
大隅地区416棟、末吉
地区476棟合計で1、
220棟の回答があった。
その内居住可能、改築
可能な空き家は612棟、
居住不可能な空き家は

608棟である。空き家
は市内の約3分の2の自治
会に点在し、一棟ごとの
面積については調査して
いない。今後の活用でき
る空き家については、所
有者へ空き家活用意向調
査を実施し、先進地の事
例を参考にしながら活用
策を検討していく。また
廃屋については安全面や
環境美化の面から解体撤
去した方が良く考える。
今年度も、危険廃屋解
体撤去の補助事業を実施
していく。

財部温泉センターの 指定管理者の見直しを

市長／見直しを含めて指導していく



五位塚 剛 議員

五位塚議員

来年7月24

日よりテレビがデジタル放送に変更になる。低所得者やお年寄りに購入補助を考えるべきではないか。

池田市長 デジタル化は推進するが補助は考えていない。

財部きらら館の運営は

問 財部きらら館が休館して二ヶ月が経過したが市長はどのように受けとめているか。

市長 新たな募集に社の申し込みがあったが契約はしなかった。休館の状態が続いていることは地域の活性化を考えると本意な気持ちである。

問 末吉の道の駅を運営するメセナ末吉に経営をお願いする考えもあるが議会や財部の出荷者の方にも相談し開かれた形ですすめるべきはないか。

市長 末吉の道の駅のメセナ末吉が経営をできるか今検討中である。

財部温泉センターの 指定管理について

問 今年の四月より(株)総合人材センターが財部温泉の管理運営を行っているが問題点はないか。

市長 指定管理者の変更で従業員の皆さんにはご心配ご苦勞をおかけした。



たからべ温泉

食堂も遅くなりましたが再開が出来、順調にいつている。施設の保守業務委託で一部未契約があり早急に契約させる。

問 温泉を運営するため契約がまだ結ばれていないという事は契約違反ではないか。

市長 10件ほど契約すべきものでまだ4件残っている。指導していきたい。

問 4月より雇用されているのに雇用契約も正式なものでない。保険証もない。改善できなければ

指定管理の解除も行うべきではないか。

市長 指摘のような事を聞いている。会社を呼び指定管理者の見直しを含めて強く指導する。

住宅リフォーム・廃屋 解体補助の経済効果は

問 平成22年度の申請状況と経済効果はいくらか。

市長 6月10日現在で住宅リフォーム補助は34件で補助金は401万円です。廃屋解体補助は31件で742万円であり経済効果は合計で9534万円である。

口蹄疫対策は

問 宮崎の口蹄疫の発生原因と拡大について市長はどう考えるか。

市長 農林水産省によると3月31日に検体を採種した水牛が最初の感染の可能性があるといわれている。早い時期に1000頭を超す肥育農家に発生したことで殺処分を手間取った事などが感染拡大になったと思われる。

問 口蹄疫を検出するところが東京の小平市にしかない。志布志港など飼料用ワラの輸入検査態勢も人員が減らされている。南九州地域検査施設の設定と検査態勢の強化を要望すべきではないか。

市長 今後もあらゆる機会に国に要望していきたい。



自動消毒機による消毒作業

大隅地区幹線市道 改良工事遅延について

市長／優先して対応していく



八木 秋博 議員

道路行政について

八木議員 曾於市行政

区での市道、農道、林道、集落道の定義と管理は。

池田市長 市道は曾於市の区域内にあり市長が路線を認定。管理は各支所の建設課、建設水道課が担当している。農道は一般には「土地改良法」に基づき造成されたもので農道台帳に記載され各支所の耕地課、産業振興課において、又林道は森林法による森林計画に基づき林道台帳にて各支所の経済課、産業振興課でそ

れぞれ担当管理しており、集落道は明確な定義はなく地域住民が主体的に管理を行っている。

問 市道、農林道整備事業（地方特定、緊急地方合併特例、過疎対策、辺地、市単独事業等）採択

と振り分けの根拠は。

市長 市道の採択は路線毎に用途区分、密集度合

不便性、危険性、必要性、緊急性に基づきランク付けし予算措置。農道は曾於市単独土地改良事業申請を受け付、補助事業はその工事規模、条件等を判断し、林道についても

森林施策の必要性を考慮し関係機関への採択申し入れを行っている。そして整備する道路の目的、要件等により利用できる財源を有利になるよう振り分けている。

問 県道（志柄・宮ヶ原・福山線、長江・柴立線、宮ヶ原・大崎線、宮ヶ原・岩川停車場線）につ

いての所見は。
市長 大変整備が遅れている路線であると認識している。今後も色々な機会を通じて要望していく。

問 市道須田木線・神牟礼・沖上線、桂・二重堀線についての経過と完了計画は。

市長 須田木線は進捗率70%で平成22年～23年度で中須田木橋工事を行い全線完了は平成30年度の予定である。神牟礼・沖上線は進捗率75%で、平成26年度で全線完了予定である。桂・二重堀線は梶ヶ野

まで地方特定道路整備事業で実施。平成19年度から過疎対策事業で継続。平成30年度全線完了予定である。

問 3路線を振り返っての所見は。

市長 工事が長期間に及んでいることから早期完成するため実情にあった見直しを行いながら優先して進捗率を高めていく。



一般廃棄物最終処分場処理施設（大隅町）

一般廃棄物処分場について

問 霧島市宝瀬地区最終処分場の経過、計画とその対処は。

市長 現在立地可能性調査が平成23年3月までの期間実施されると伺うが、中間的報告を聞き意見を述べる必要を感じている。

問 曾於市一般廃棄物最終処分場の現状は。

市長 大隅・財部一般廃棄物最終処分場は、放流

水・地下水の検査を毎月実施し、残余量・年数とも問題点はない。財部処分場は平成18年10月から搬入をしていない。

※地方特定道路整備事業とは

地域が緊急に対応しなければならぬ課題にこたえるため、早急に整備する必要がある特定の道路の整備事業

そお市農村復活は

市長／意欲的な農家や営農組織を育成する



迫 杉雄 議員

道路行政について

迫議員 平成21年度の

曾於市農畜産物生産実績は390億円以上を占めている。一方農家においての高齢化と後継者不足を鑑み尚一層努力することが大事である。

今後、元気のでる農畜産業を目指す為、本市の取組みについてどの様な所見をもっているか。

池田市長 農業は本市の基幹産業であり、営農環境の整備や生産性の向上に努め高い経営能力を持つ意欲的な農家や営農組織を育成し、生きがいとやりがいの持てる農業の振興を図らなくてはならない。

問 地域は地域の力のもとに、今後は確実に営農を目指すべきと思う。そのために地域リーダーを育てるべきであると思うがリーダー養成についての様な考えがあるか。
市長 若者に今後期待して、地域農業の営農化が必要であると思う。

問 本市における食糧自給率並びに飼料自給率を高める施策はどうであるか。
市長 本市の食糧自給率は205%である。飼料自給率については、畜産



耕作放棄地

の町として今後、飼料米並びに飼料稲について自給飼料に立脚した畜産経営の確立のため、水田のフル活用や自給飼料基盤の拡大に努める。

問 米戸別所得補償制度モデル対策の本市の対応は。
市長 水田利活用自給力向上と米戸別所得補償モデル事業の2つの事業がセットで実施されている現在、農家の皆さんからの申請を受けている。

問 本市における遊休農地の対策に取組むべきであるか。
市長 耕作放棄地の全筆調査を行い、曾於市耕作放棄地対策協議会を設立し、取組みについて検討する。

問 平成21年から26年までの事業計画農村振興総合整備事業について6地区のは場整備は早急に進めるべきであるか。

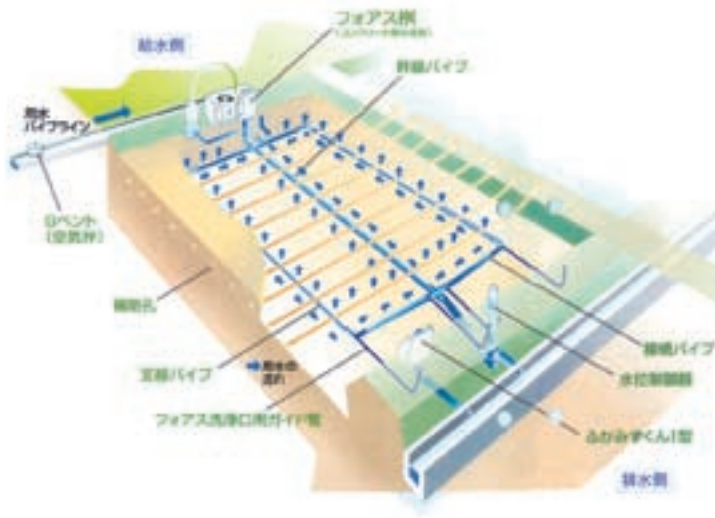
市長 平成22年度では百入地区のほ場整備工事を施工するが、順次工事着手していく予定である。

問 寺園地区に対してモデル的、地下水水位制御装置（フォアス）を導入して農村振興を図るべきだが。
耕地課長 寺園地区について今後県と打ち合わせ十分検討する。

問 健全財政にむけて、税収減や無駄削減において今後、市債を減らすべきであるか。

市長 地方債現在高は平成17年度に252億4692万円であった。20年度は236億104万円となり、市民1人当たりは56万3700円で今後、地方債残高にも十分注意を払っていく。

財政対策は



地下水水位制御装置

中学校の統合に 向けての計画と方針は

教育長／地区協議会または統合準備委員会
を設置する



今鶴 治信 議員

今鶴議員 末吉地区、財部地区の中学校の統合に向けての計画と方針はどうか。

植村教育長 統合に向けた準備を学校ごとに地区協議会または統合準備委員会を設置して閉校及び開校の準備を進める計画である。

問 統合される地元中学校、関係する地元小学校に対する説明や保護者の意見はどうか。



南之郷中学校

教育長 統合後は通学バスを朝1回、夕方2回運行する計画である。制服の助成は作業部会を設置して検討する。統合される中学校の先生の一部もいっしょに赴任させることも検討する。

園芸振興策は

問 曾於東部畑かん地区の営事業が平成23年度末をもって終了するがその後の対応はどうか。

池田市長 散水器具の導入に補助率の有利な営事業の申込期限が23年3月に迫っていること等も考慮し地区説明会や現地実演会を開催して水利用の促進を図る。営事業終了後はそれ変わる市単独事業は様子を見ながら検討する。

問 曾於東部畑かん地区における推進作物の面積拡大に向けた取組はどうか。



新型ロールカーでの散水

市長 曾於市畑地かんがい営農ビジョンで定めた推進品目を畑かん営農プロジェクトチームの年間活動計画を基に面積拡大に向け取り組んでいく。

問 推進品目である白菜、キャベツはこれまで大隅町が国の価格安定対策の指定を受けていたが末吉町、財部町も指定を受けられるか。

経済課長 新たに加えるには農協を通して申し込み一定の要件を満たせば可能である。

口蹄疫対策は

問 口蹄疫感染の拡大が止まらず都城市高崎町で疑似患者が発生したために曾於市財部町の一部が搬出制限区域に指定されたが解除の見通しはいつになるか。

市長 新たな口蹄疫感染が出ない場合は発生農場の家畜を殺処分して埋却した後、21日の期間を待つて搬出制限は解除される。

問 畜産農家以外の一般家庭の方も口蹄疫防疫のために家庭でも消毒に協力したいがどうすればいいのかという意見が多い。その対応はどうか。

市長 商工会などの事業所には消石灰を無料配布する。一般家庭には食酢による消毒の仕方を説明するチラシを配って協力をお願いする。

小規模サツマイモ農家に支援を

市長／一定の要件を満たせば対象となる



九日 克典 議員

九日議員 サツマイモ作付面積50a以下の農家に対する経営安定対策の要件見直しによる交付金は対象となるか。

池田市長 一定の作業規模を有する共同利用組織に参加又は受託組織・サービス事業体に育苗・耕



サツマイモ作付状況

生分解性マルチの現状と今後の取組み

起・整地・畝立て・マルチ・植付け・防除・収穫等の作業を委託している者は対象となる。

問 サツマイモ茎葉利用による家畜飼料の取組について。

市長 サツマイモ茎葉はほとんど利用されていない。利用が進めば畜産農家は飼料コストの削減・甘藷農家は農作業効率の向上、労力低減につながる。耕畜連携による取組みとなるが機械の導入等課題も多いが効果を考え検討する。

作業の省力化等環境にやさしい資材である。支援策として普及促進できないか。

市長 現地実証に取組んだ経緯がある。結果として覆土部分から破けマルチとしての効果が無くなった。分解が気象条件に影響される。価格が高い等課題が多く普及に至っていない。

がん検診の現状と課題について

問 受診率向上の対策は。
市長 全体として40歳代の受診率が約1割と低い。中でも子宮がんは20歳代30歳代の受診率が低い。早期発見・早期予防及び医療費抑制の観点からも受診しやすい環境整備等を検討していく。

女性特有の子宮がんについて

問 子宮頸がんは唯一、ワクチンで予防できるガンであり、接種すれば6割強予防することができるといわれている。しかし、費用が高額なため接種に踏み切れない面があるので、助成はできないか。

学区区について

問 通学区の規則は遵守されているか。

教育長 学校管理規則・区域に関する規則で区域を設定している。1月に指定通知を送付し不都合が生じた場合は変更申立書を申請し内容を慎重に審査し教育的配慮により承諾することもある。



巡回する女性検診車

国保税の値上げは中止を

市長／8%引き上げをお願いしたい



徳峰 一成 議員

徳峰議員 今、口蹄疫で

農家に深刻な影響や被害が拡がっている。しかも国民健康保険に加入する昨年の市民の所得は14%おちこんでいるなかで、国保税の値上げは中止すべきではないか。

池田市長 国民健康保険の財政はきびしく、本年度は一般会計から国保会計に8871万円繰り入れた。それでも財源不足を生じるため、今回8%引き上げをお願いした。



市民代表、国保税引き上げ反対の陳情書を提出

問 志布志市は昨年、国保税の引き上げを押さえるため一般会計から国保会計に2億円を繰り入れた。霧島市は今年6月1億4000万円を繰り入れて国保税の引き下げをおこなっている。

問 畜産農家は口蹄疫被害で収入減が続いてお

口蹄疫被害で国保税などを減免すべき

曾於市には引き上げを中止にするための6076万円の財源はある。今の時期に引き上げは中止すべきではないか。
市長 今年は8871万円を国保会計に繰り入れた。これ以上はむずかしい。

り、税金を払うのが困難な状況にある。今こそ市は、時期を定めて国保税や市民税などを減免する措置をとるべきでないか。
市長 減免ではなく徴収猶予の措置をとりたい。

問 今回の口蹄疫被害は、そうした措置だけでは不十分である。

市民が被害にあっているとき救済するのが税の減免制度ではないか。霧島市などにならって、市は柔軟に適用すべきではないか。
市長 現状ではむずかしい。

フラワー公園は中止を

問 市は建設のための検討をおこなっているのか。
市長 副市長を責任者に、三月と六月検討委員会を開き近隣市町村の公園等の資料提供や、建設のための補助制度などについて照会している。今後は近隣市町村の公園視察を計画している。



花房峡いこいの森公園（末吉町）

中学三年生まで、子ども医療費は無料に

問 現在曾於市は、小学校に入学するまでの子どもの医療費が無料である。しかし全国的に、小学六年生まで無料にする市町村が急速に拡がっている。少子化対策の点から、中学三年生まで無料にするべきではないか。
市長 今しばらく県内市町村の動向を見守りたい。

問 国保税値上げ、市民所得の落ち込み、きびしい財政、口蹄疫被害のなかで、市民の多くは税金の大きなムダ使いとなりかねない、フラワー公園建設は中止すべき、と市長は受け止めるべきである。市はアンケートをとるなどして市民の意見を聴くべきである。
市長 市民の意見を聴くことについては考えたい。

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会では、閉会中の所管事務調査や6月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。



大峯辺地（上大峯線）

総務常任委員会（吉村幸治委員長）

☆辺地に係る公共的施設の
総合整備計画の変更につ
いて（財部町大峯辺地）

大峯辺地（平成19～23年度）に新たに市道「上大峯線」の改良舗装工事を追加するものである。
問 整備を必要とする事情の内容の中で、子どもたちの自転車通学という文言はよいか。

答 当初計画した時点では生徒2名が北中学校に自転車通学をしていたが現在はいない。当大峯地区は集落営農を取り組んでおり、また定住にも関係課と連携を図りながら努力していきたいと思っている。

☆土地の取得について
（財部地域宅地分譲整備
事業用地）

曾於市の人口増と地域の活性化を図ることを目的に進めるものである。
問 地元から場所を変更して頂きたいという要望書が出ているが、なぜあそこを計画したのか。

答 プロジェクトチームで7回の会議を重ね、16箇所の候補地の中から町の中心に近く、景観にも優れて、売れる場所ということで計画し、地元へは説明会を実施した。

問 正ヶ峯地区や財部温泉近辺も可能性はなかったのか。

答 ほとんど基盤整備をしており、県と協議したところ一種農地であり農振除外はできないということであった。

問 畜舎と隣接しているが問題はないか。
答 畜舎の臭いや鳴き声などの対策については、



末吉中央分団詰所建設予定地

☆平成22年度曾於市一般
会計予算の補正（所管分）

隣接する場所に公園や道路など計画し今後十分検討していく。

問 末吉中央分団詰所建設によって図書館前の駐車場が狭くなるが新しく確保するのか。
答 この近くに駐車場を確保したいと思っている。

問 末吉中央分団詰所の建設場所を今のところから変えるということはないことだが、なぜ図書館前にしたのか。
答 今の所は駐車場がないということである。また栄楽公園駐車場の所も考えたが公園の面積の一部でためであった。

問 危険廃屋解体撤去補助金の増はなぜか。
答 当初30件予算計上していたが、申請件数が急増していることから新たに40件追加するものである。

☆所管事務調査

（調査事項）

・市内中学校調査

（内容）

平成24年度から財部・末吉の各中学校をそれぞれ一校に統合することから4中学校を調査しました。

南之郷中学校 生徒数30名P戸数27戸で「興せさわやか南之郷旋風」の下、早朝トレーニングや全校朝会での一分間スピーチなど特色ある学校教育がなされている。

財部南中学校 校訓「生魂（いっただし）」の下、生徒数21名P戸数20戸で特に学力面は向上しており、個別指導が徹底され学校行事や施設整備には地域の協力体制が整っている。

財部北中学校 生徒数12名である。21年度の卒業生が13名だったため生徒数が激減した。部活は男子テニスのみのため始業



財部中学校

前放課後のスポーツ活動を取り入れ奨励している。財部中学校 生徒数215名（6クラス）であるが統合の24年度は254名（8クラス）となる。26年度においては210名（6クラス）と現在と同程度になる見込みで平成24年度夏に校舎完成の予定である。

意見 財部中の施設整備は地域や学校現場の意見を積極的に取り入れ、実態に即した総合的な計画作成に努めるよう意見がありました。

☆曾於市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

問 法定外繰入れをした上での保険税引き上げだが今後の傾向は。

答 25年度以降は新しい後期高齢者医療制度の見込みもあり予測は難しい。国保は、県単位での広域化の流れもある中で、曾於市としての対応をしっかりと行っていく。

☆陳情

30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について

意見 教育予算を国全体としてしっかりと確保・充実していく必要から本陳情の趣旨に賛同すべきである。

☆陳情

国民健康保険税の8%もの値上げ中止を求める陳情書について

意見 被保険者の所得が減ってきている中、社会

保険との不公平感もあり市も改善の努力が必要。意見 抜本的な見直しを国においても行うべきだ。

☆陳情

曾於市国民健康保険税の引き上げに関する陳情書について

意見 市民感情は大事であり陳情項目は鋭い指摘である。引き上げは最低限度にとどめて欲しいとの趣旨は大いに理解できる。

☆陳情

意見 陳情項目が多岐にわたっており、不況の中、国保税引上げは市民にとって苦しいことは理解するが、財源を保険料で賄う原則からすると一般会計に頼るといふ本陳情は路線をはずれている。

☆平成22年度曾於市一般会計補正予算について（所管分）

・長寿祝金支給事業4317万6千円の減額について

意見 3月定例会にお

る当初予算の審査内容を考慮しての変更であると推測できるが、市民に対してはその中身について十分な説明を行い、周知徹底をはかるべきである。

☆平成22年度曾於市国民健康保険特別会計予算の補正

問 歳入の保険税8300万9千円の減額は。答 被保険者の所得の減が大きき理由である。

☆平成22年度曾於市老人保健特別会計予算の補正

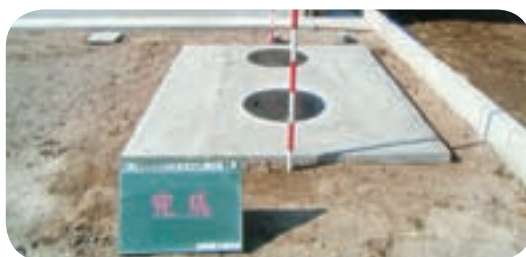
21年度老人保健医療交付金の精算に伴う支払基金への償還金の補正である。

☆平成22年度曾於市介護保険特別会計の補正

問 繰越金は最終的にいくらになるか。答 21年度決算見込みで3億4767万円である。

☆平成22年度生活排水処理事業特別会計予算の補正

意見 特別会計における人件費は実態に即して計上するように。



完成



合併浄化槽据え付け状況

☆所管事務調査

（調査事項）

・土木行政に関する調査

（内容）

曾於市環状線構想計画について整備状況等を調査しました。

現行路線延長82・2キロメートル。国道、県道、市道、広域農道を接続して旧3町をつなぎ市民の一体感を醸成するものであるが、北部と南部に未整備の箇所が集中している。総合振興計画における環状線の位置づけはどうなっているのか。路線ごとに案内板を立てたいのではないかと。道路の美化の取組をもっと推進すべきではないか、構想の中にさらに市道の追加をできないか等の意見要望が出された。

（調査事項）

・農林業・畜産振興に関する調査

（内容）

平成22年4月20日に宮崎県で発生した口蹄疫について、経過と現状の報告を求めた。終わりの見えない、自主防疫の中で畜産農家は心身共に極限状態にあり、畜産経営の先行に大きな不安を抱え地域経済、市民生活にも多大な影響が出ていることから、国に対し意見書の提出を決定した。

☆曾於市営住宅条例の一部を改正する条例の制定

本年度鳥越団地建替事業による既存住宅3戸の用途廃止に伴い、条例の一部を改正するものである。

☆曾於市道路路線の廃止及び認定について（下中野線、阿邪里線）

県道改良に伴い、規定

により市道を廃止し、旧県道部分を市道認定するものである。



市道阿邪里線

☆平成22年度曾於市一般会計予算の補正（所管分）

問 畜産振興基金の内容目的は。

答 口蹄疫に伴いセリ市が延期され、4月セリ市分の子牛はすでに月齢12カ月に達しており、今後自家保留等の子牛が増え

てくると予想されることから、基金の積立を願

いするものである。

問 地域振興住宅の棟あたりの敷地面積は。

答 3戸分の敷地を買う場合、通路部分や道路への取り付けの部分も含め

ての計算で400㎡程度あれば建築可能である。

問 選挙の方法・内容は。

答 選挙会は3回行われ1回目は応募された31名の中から書類審査により、条例と内規に基づき21名に絞り込み2回目に、申し込みの動機、出身地及び市内に在住する身内等の確認と、定住、自治会への加入、地域行事への参加及び児童の通学の希望、これらの意思確認をし、3回目の選挙会においては、住宅完成時の最終確認として、確実に入居するか、また買い取りまで考えているか聞き取りを行っている。

問 払い下げについては明記したもので伝えているのか。

答 明記されたものではないが、今後検討していく。

問 市単独土地改良事業の内容は。

答 大隅の西原地区のボーリング調査委託料と未

吉国原地区の水中ポンプ取替補修工事である。

☆平成22年度曾於市公共下水道事業特別会計予算の補正

問 下水道事業の市債は全体でいくらあるか。

また利率はどうなっているか。

答 22年度は1億6790万円、全体で19億6876万1千円になる。利率は、1・75%～2・1%である。

7月3日 豪雨災害

6月中旬以降、活発な梅雨前線の影響による激しい雨が降り、7月3日の集中豪雨はこれまでにない深刻な被害を残しました。

特に財部町北部の中谷地区、北地区に被害が集中しております。水田は約43.6%が埋没、踊橋の落橋や、多数の住宅の全半壊、床上、床下浸水の被害を受け、避難生活を強いられている世帯もあります。住民が安心して生活できる環境づくりのために、関係機関と協力して一日も早い復旧が望めます。



災害復旧が待たれる中谷地区（財部町）

口蹄疫の早期終息を願う

4月20日宮崎県において発生した口蹄疫の疑似患者は292例、処分された飼養牛・豚等の頭数は21万1608頭となり、ワクチン接種分を含む28万8643頭全てが殺処分されました。

4月20日宮崎県都農町の繁殖農家において口蹄疫と疑われる飼養牛が発見されたと報じられて以来、約3ヶ月で終息しましたが、口蹄疫のウイルスの存在におびえている現在であります。この間、都城市と隣接する我が曾於市への侵入を阻止しようと昼夜を問わず消毒作業に従事する市職員また農協職員、農業共済組合職員、ボランティアの皆さんのご苦勞に対して心から敬意を表するものです。

曾於市においては、4月21日に畜産農家への消毒剤配布を決定し、いち早く曾於市口蹄疫侵入防止対策委員会設置、子牛畜産農家に対し見舞金を交付する等、その対応の早さには一応評価できるものと言えましょう。

また曾於市議会においては、5月28日臨時議会が開催され、同日、国に対して「口蹄疫に対する総合的な支援対策の強化と充実を求める意見書」を可決提出されたところあります。

また、口蹄疫発生による予算については、口蹄疫対策支援事業（子牛育成支援対策事業見舞金3ヵ月を限度に1頭につき月1万円を交付）家畜防疫及び環境保全対策事業、畜産振興協議会事業、畜産振興基金事業操出金（50頭分）として総額2億5562万4千円が計上され議決されたところあります。4月から中止されていた子牛セリ市は7月末から再開されており、子牛2万頭に影響が出たといわれている。この間の畜産農家はもちろん各方面での経済的、精神的影響、及び負担は計り知れないものがあり、国においても特段の支援対策を講じてほしいものです。

今後は、国の責任において口蹄疫の発生原因究明と侵入経路の特定が望まれるところあります。（谷口）



車両消毒マット設置準備

水と私たちは、切っても切れない関係にあります。私たちの体は、大部分が水分で出来ていること。食べる米や野菜も、全てに水が関係しています。水があるからこそ、私たちは生きていられる。しかし、水は時として私たちに襲い、災害をもたらし、命まで奪うこともあることを忘れてはなりません。水の大切さ、恐ろしさを忘れずに、大切な命、自分で守りましょう。

（九日）



表紙によせて

編集後記

「口蹄疫」に始まり「口蹄疫」に終わった6月定例会でした。ほとんどのイベントや集会等が中止になり、緊張感の中での議会でした。1日も早い終息宣言が待たれます。

無気力感・閉塞感が漂う中でゲリラ的集中豪雨による災害の情報が飛び交う今日この頃です。

そのようななかであつて、宇宙探査機「はやぶさ」が一次行方不明ともいわれましたが、7年間の歳月をかけ満身傷だらけになりながら、地球に帰還するという快挙や、サッカーW杯南アフリカ大会での我がサムライジャパンの活躍に、国民誰しも感動、感激を与えられました。

青少年に大きな夢と希望を持って羽ばたいてほしいものです。

（谷口）

私たちが

作っています

いろんなご意見を
お聞かせ下さい。



議会広報等調査 特別委員会

委員長 大川内富男

副委員長 今鶴 治信

委員 九日 克典

委員 八木 秋博

委員 五位塚 剛

委員 谷口 義則

発行責任者

議長 大津 亮二